

実施事業一覧表 観光課

番号	細々目	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	事業の周知方法及びそれに関する問題点	目標値	実績値	目標値	目標達成度
								H28年度		H28年度	H28年度	H29年度	H28年度
64	『観光地域づくり推進事業』	生産者と消費者の交流促進	観光課	食など地域の特性を活かした滞在コンテンツの整備など観光地域づくりの取り組みを行なう。	都市住民及び来訪者の体験ツアーを実施し、生産者と消費者の交流促進を図る。	・市民 ・来訪者	商品化ツアー・体験プログラム参加者数	平成25年4月に認定された「海風の国」佐世保・小値賀観光圏において観光地域づくりの事業を実施。地域における食の魅力を活かした着地型観光商品「海風旅」等の造成、販売を行なった。	「海風の国」ホームページや、「海風旅」パンフレット等において周知を行っている。更なる情報発信の強化が必要である。	177,500人	176,928人	177,500人	99.7%

実施事業一覧表 農業畜産課

番号	細々目	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	事業の周知方法及びそれに関する問題点	目標値	実績値	目標値	目標達成度
								H28年度		H28年度	H28年度	H29年度	H28年度
57	ふれあい農業推進事業	農業体験	農業畜産課	貸農園形式により農業体験を実施	体験活動により食への関心を高め、心身の健康増進を図る。	・市民	体験者数	各種体験活動による支援を実施した。市民農園利用者67名、JA青年部が実施する食農教育活動参加者808名		750人	875人	750人	116.7%
58	集荷販売対策事業費	卸売市場の見学及び体験学習	卸売市場	卸売市場の見学及び青果物などの体験学習	卸売市場の見学及び体験学習をとおして、市場の役割や食への理解を深めるとともに、青果物・水産物等の消費拡大に資する。	・市民 ・来訪者	見学者数	青果・花き・水産市場において見学希望の申込みがあり、市場見学を実施。また青果・花き市場において小学生を対象としたフルーツカッティング教室を、8月に開催。16名の参加者。		900人	1,000人	900人	111.1%
60	付加価値の高い一次産品育成対策事業	産地化・ブランド化、一億農産物振興事業の推進	農業畜産課	佐世保市産農産物(推進品目)の生産面積拡大	佐世保市産農産物の産地化を図る	・市民	佐世保市産農産物(推進品目)の生産面積	産地化・ブランド化育成事業や、一億農産物振興事業など、新たな農産物への支援を行った。		31.0ha	31.3ha	31.0ha	101.0%
	家畜保健衛生対策事業	家畜保健衛生対策	農業畜産課	家畜の疾病、事故が減少することを目的として、農業団体が行う事業に対して補助金を交付	家畜の疾病、事故等を未然に防ぎ、安全な食品を提供する。	・農業団体	子牛出荷時におけるワクチン接種率	疾病予防対策事業、牛舎衛生対策事業、寄生虫対策事業に対し補助金を交付		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

実施事業一覧表 水産課・水産市場

番号	細々目	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	事業の周知方法及びそれに関する問題点	目標値	実績値	目標値	目標達成度
								H28年度		H28年度	H28年度	H29年度	H28年度
5	栽培漁業推進事業	啓発活動・水産教室など	水産課	水産教室、お魚料理教室、漁業体験などの開催	体験などを通してブルーツーリズムを推進するとともに、料理教室を通じて水産物の消費拡大、地産地消の推進を図る。 ※また、食品ロスについても啓発を行い、理解を深める	・市民	水産教室などへの参加者数	水産教室の開催 小中学校で栽培漁業、地元水産振興活動の紹介、種苗放流、さばき方教室の実施		540人	558人	540人	103.3%
61	地産地消推進事業(再掲)	地産地消の促進	水産課	地元水産物の地元販売促進イベント開催への助成	地域水産物の地域内消費拡大を図る。	・水産関係団体 ・漁業協同組合	イベント参加者数						
62	水産物消費拡大事業	水産物消費拡大	水産課	水産物の県外・市外販売促進イベント開催への助成	地域水産物の広域的なPR活動により消費拡大・販路拡大を図る。	・水産関係団体 ・漁業協同組合	イベント参加者数	水産加工品PR・販売イベントの開催経費に対する支援	市HP等で周知を実施。現時点では周知方法に対する問題点は特にないと考えている。	25,000人	15,000人	25,000人	60.0%
63	魚食普及啓発関係事業費	お魚まつり	水産市場	魚食普及、地産地消の推進を目的としたイベントの開催	水揚げされる新鮮な地元食材の提供と消費者への魚食普及を図る。	・水産市場関係者 ・消費者	お魚まつり入場者数	水産市場において、お魚まつりを開催。鮮魚・水産加工品の販売、販売促進PR、お魚さばき方教室等の魚食普及活動を実施。 約3.6万人の来場者。	観光コンベンション協会及びパールシーのHPにおいて周知を行っている。天候等にも左右されるが、周知方法としては、特に問題はないと考えている。	40,000人	36,000人	40,000人	90.0%
65	離島漁業再生支援交付金事業	ブルーツーリズム*の推進	水産課	観光資源を活用した地域振興策の実行	観光資源を活用し、漁村の活性化や食と漁業への理解を深める。	・漁業者 ・地区住民	離島地区における漁獲量	ウニ割り体験などの体験メニューの提供	観光コンベンション協会及びパールシーのHPにおいて周知を行っている。天候等にも左右されるが、周知方法としては、特に問題はないと考えている。	1,780t	2,149t	1,780t	120.7%

実施事業一覧表 人権男女共同参画課

番号	細々目	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	事業の周知方法及びそれに関する問題点	目標値	実績値	目標値	目標達成度
								H28年度		H28年度	H28年度	H29年度	H28年度
2	男女共同参画推進啓発事業	【重点課題せ】親子クッキング	人権男女共同参画課	身近な食材を利用しながら、栄養バランスの取れた料理を作る親子料理体験	親子での料理体験を通じ、家庭での男女平等教育、男女共同参画の推進、食育の推進を図る。 ※また、食品ロスについても啓発を行い、理解を深める	・子ども ・保護者	参加者数	●開催日：①9月25日(日)②3月26日(日) ●開催場所：①②男女共同参画推進センター「スピカ」調理実習室 ●内容①「父と子ピザ作り」24人②「父と子ケーキ作り」18人	周知方法：広報させぼとホームページ掲載、小学校、地区公民館、四ヶ町商店街組合等へのチラシ、ポスターの配布、秘書課から報道機関への投げ込み、ライフさせぼへ掲載依頼 など 問題点：特にないが、開催時期が小学校などの行事と重ならないように気を付けている	48人	42人	48人	87.5%

実施事業一覧表 医療保険課

番号	細々目	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	事業の周知方法及びそれに関する問題点	目標値	実績値	目標値	目標達成度
								H28年度		H28年度	H28年度	H29年度	H28年度
19	健康管理事業	健康アップ料理教室	医療保険課	参加者に生活習慣病予防食を作ってもらい、料理する楽しさを通じて、食生活の大切さ、関係知識の啓発を実施	管理栄養士の専門的な指導により、具体的な食習慣改善指導(支援)を行うもの。	佐世保市国民健康保険加入者(特定健診受診者優先)	参加者数	年間5回実施 (中央保健福祉センター:4回 宇久保健福祉センター:1回)	本事業はH28年度をもって終了	100人	73人	—	73.0%
20	健康管理事業	カラダすっきり教室	医療保険課	食と運動を具体的に体験しながら学習する機会を提供し、即実践できる知識の啓発を実施	管理栄養士及び健康運動指導士等の専門的な指導により生活習慣改善の効果の向上をはかり重症化予防を目指す	特定健診受診後特に生活改善が必要な方(特定保健指導該当者及び重症化予防対象者)	参加者数	年間3回実施 (中央保健福祉センター:3回)	本事業はH28年度をもって終了	60人	63人	—	105.0%
27	特定健康診査事業費	【重点課題さ】 特定健康診査	医療保険課	国民健康保険加入者の40～74歳を対象に内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)に着目した特定健康診査を実施。 また、健診後に管理栄養士による対象者の健康状態に応じたきめ細かな栄養指導などを実施。	生活習慣病予防のために、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)やその予備群を的確に抽出し、該当者を特定保健指導につなげる。	国保加入者40～74歳	受診率	受診率目標55%		55.0%	36.0%	60.0%	65.5%
28	特定保健指導事業費	【重点課題さ】 特定保健指導	医療保険課	国民健康保険加入者の40～74歳を対象に内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)に着目し、管理栄養士による対象者の健康状態に応じたきめ細かな栄養指導などを、特定保健指導として実施する。	特定健康診査により抽出した糖尿病などの生活習慣病予備群に対して適切な保健指導を行い、対象者が生活改善を行うことで将来的な発症の抑制を目指すもの	国保加入者40～74歳	特定保健指導実施率(%)	実施率目標60%		60.0%	58.0%	60.0%	96.7%

実施事業一覧表 長寿社会課

番号	細々目	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	事業の周知方法及びそれに関する問題点	目標値	実績値	目標値	目標達成度
								H28年度		H28年度	H28年度	H29年度	H28年度
29	介護予防・生活支援サービス事業	きらっと元気教室	長寿社会課	運動機能向上および認知機能低下予防に関するプログラムの実施。また、口腔機能向上・栄養改善の健康教育も行う。	対象者に応じた個別のプログラムを設定し、各機能の向上を図ることにより、自分らしい生活の確立と自己実現を支援する。	総合事業対象者および要支援1・2の認定をもっている者のうち、短期集中予防サービスが必要と認められた者	きらっと元気教室に参加した高齢者数	平成29年度からの実施	対象者が限定されるため、現時点では積極的な周知する予定なし	2017年度	2017年度	2018年度	2017年度

実施事業一覧表 生活衛生課

番号	細々目	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	事業の周知方法及びそれに関する問題点	目標値	実績値	目標値	目標達成度
								H28年度		H28年度	H28年度	H29年度	H28年度
67	食のリスクコミュニケーション事業	食のリスクコミュニケーション事業	生活衛生課	食品関係情報の提供と意見交換(リスクコミュニケーション)の推進	衛生意識の向上による安全な食品の提供と食品事故を未然に防止する。	・市民 ・食品関連事業者	意見交換会開催回数	①体験型リスクコミュニケーション「実践！親子で食中毒予防」を実施 ②大学生を対象とした食のリスクコミュニケーション「学園祭での食中毒予防」を2回実施	①広報させば、HP等で周知。②学園祭実行委員会へ直接案内し実施。	2回	3回	2回	150.0%
68	営業許可調査事業	衛生講習会	生活衛生課	営業者、営業所従事者及び消費者に対する衛生講習会の開催、パンフレットの配布、苦情相談の窓口開設	食品の安全性に関する基礎的な知識を習得する。	・消費者 ・食品等事業者	食品衛生講習会実績	市民、食品営業者向けに食品衛生講習会を実施。内訳は ・責任者 15回 ・営業者 23回 ・消費者 6回 ・その他 14回	責任者に対しては事前案内にて周知。その他は講習会の依頼を受けて実施。	60回	58回	60回	96.7%

実施事業一覧表 食肉衛生検査所

番号	細々目	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	事業の周知方法及びそれに関する問題点	目標値	実績値	目標値	目標達成度
								H28年度		H28年度	H28年度	H29年度	H28年度
69	食肉品質向上事業	と畜場見学、検査体験	食肉衛生検査所	お肉ができるまでの過程の見学や食肉検査の学習・体験	生きた動物がお肉となって食卓にのぼるまでの様々な過程について理解を深めることで、食に関する感謝の気持ちを育むとともに、消費者の安全・安心な食生活環境づくりを推進する。	・小学生高学年の児童及びその保護者、中学生	参加者満足度	食肉の生産・検査・流通の過程を学ぶ見学会及び体験学習イベントを開催。 ①親子参加型見学会「体験！お肉ができるまで～と畜場見学会～」(7/27,佐世保市と畜場ほか,児童11名・保護者12名)。②中学生向け体験学習「体験！お肉の検査員～獣医師のお仕事～」(7/28～29,同上,中学生4名)	佐世保市ホームページ、広報させば、ライブさせば、市政だより(テレビ、ラジオ)等で周知。 現状の方法で一定数の応募があり、特段問題はない。	95.0%	100.0%	95.0%	105.3%

実施事業一覧表 子ども育成課・幼児教育センター

番号	細々目	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	事業の周知方法及びそれに関する問題点	目標値	実績値	目標値	目標達成度
								H28年度		H28年度	H28年度	H29年度	H28年度
1	少子化対応推進事業	【重点課題セ】 離乳食講座と実習	幼児教育センター	月齢や発育・発達状態に合わせた離乳食の段階や調理方法の指導、旬の食材を使った離乳食作りと試食体験	月齢や発育・発達状態に合わせた離乳食の確実なステップや調理方法の指導より、食事の基礎を作る。また、情報交換や相談の場の提供により安定した生活を図る。 ※また、食品ロスについても啓発を行い、理解を深める	・妊産婦 ・乳児の保護者	参加者数	●開催回数10回 ●内容:5~6か月頃と7~8か月頃、9~11か月頃、12~18か月頃の離乳食の講話と実習(各5回) ●開催場所:中央保健福祉センター ●対象:妊産婦及び乳児保護者 各20名		200人	206人	200人	103.0%
3	幼児教育センター運営費	【重点課題セ】 親子クッキング	幼児教育センター	幼児向けのおやつを作る親子料理体験	親子料理体験をとおして親子がふれあい、また、子どものころから「食」への関心を高める。 ※また、食品ロスについても啓発を行い、理解を深める	・児童(就学前) ・保護者	料理体験の満足度	●開催日①7月28日 ②7月29日 ●献立:豆腐のミニキッシュ、手作りソーセージ ●開催場所:幼児教育センター ●対象:3歳~未就学児とその保護者 各10組		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
4	幼児教育センター運営費	【重点課題セ】 幼児食調理講習会	幼児教育センター	調理講習会の開催(子ども向けのメニューや、調理方法などを学ぶ)	大人自らが食生活を見直し、食をとおして子育ての楽しさや大切さを感じる。食を楽しむ機会をとおして子どもの「食育」について関心を高める。 ※また、食品ロスについても啓発を行い、理解を深める	・就学前児童の保護者	調理講習会参加者の満足度	●開催日:①10月13、14日②1月31日、2月1日 ●献立:①インスタントお吸い物、カボチャのゴロッケ、大場味噌の焼きおにぎり②けんちん汁、昆布の佃煮、カボチャのジェラート ●開催場所:幼児教育センター ●対象:未就学児の子どもをもつ保護者 各10組		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
6	公立保育所拠点機能事業	食に関する育児講座等	子ども育成課	食に関する講話や調理実習、むし歯予防の講話	在宅親子に対して、食や口腔に関する正しい知識を普及する。	・在宅親子	参加者数	○産科講話開催 わいわい広場4回、すくすく広場ひまわり親子教室で9回実施。 ・正しい歯磨きのミニ講話や、個別にお口のチェック、磨き方のアドバイスをする。 ○たんぼぼ(0歳の会)で栄養士講話を16回、わいわい広場で食育講座を3回と調理実習を10回実施 ・離乳食や食への関心を深め望ましい食習慣を促す。		1,000人	1,343人	1,000人	134.3%
8	幼児教育センター運営費(再掲)	食に関する相談(子育てトークほっとタイム)	幼児教育センター	子育て相談員を交えて保護者同士がおしゃべりを楽しむ中で、食に関する情報交換、相談を実施	食生活の不安を解消する。	・市民	参加者満足度	●開催日:7月13日 ●開催場所:幼児教育センター ●対象:乳幼児の子どもをもつ母親 ●内容:手遊びや読み語りなど親子で楽しんだ後、母親は小グループに分かれ情報交換を行う。		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
9	少子化対応推進事業(再掲)	食に関する講演会	幼児教育センター	日ごろの食習慣を見直し、「子どもの食」について考える機会として食育講演会を開催	保護者が食育の様々な情報や知識を習得することによって食育への関心を高め、日頃の食生活を見直す機会をとともに、乳幼児からの食生活の必要性を発信していく。	・市民	参加者満足度	●開催日:7月10日 ●開催場所:長崎県立大学 ●対象:一般・幼保小職員・行政 ●演題:食で育むところから		100.0%	98.9%	未定	98.9%
47	幼児教育センター運営費(再掲)	調理担当者の実技研修	幼児教育センター	調理担当者に、給食やおやつの実技研修を実施	保育施設において、不足しがちな栄養素を含む給食献立を取り上げ、子どもの発達に必要な栄養の取り方を学び、食事の提供を望ましい食習慣としつづけ実践できる人材を育成する。	・調理員	参加者数	●開催回数:3回 ●開催場所:中央保健福祉センター ●対象:保育所等の調理担当者 ●内容:離乳食について 講話と実習		90人	72人	90人	80.0%

実施事業一覧表 子ども育成課・幼児教育センター

番号	細々目	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	事業の周知方法及びそれに関する問題点	目標値	実績値	目標値	目標達成度
								H28年度		H28年度	H28年度	H29年度	H28年度
52	少子化対応推進事業 (再掲)	乳幼児食育アドバイザーフォローアップ講習会	幼児教育センター	乳幼児食育アドバイザー講座の開催	乳幼児食育アドバイザーの共通認識とスキルアップを図る	・乳幼児食育アドバイザーフォローアップ講座の開催	参加者数 (平成27年度)参加者満足度(平成28年度～)	●開催日:9月2日 1回 ●開催場所:中央保健福祉センター ●内容:乳幼児期の発達と食行動との関連 ①離乳食の基本的な考え方 ②離乳食のステップ ③発達と食行動の関連		100%	100%	100%	100.0%
追	少子化対応推進事業	乳幼児食育アドバイザー養成講座	幼児教育センター	乳幼児食育アドバイザー養成講座の開催	食の大切さや乳幼児からの食育の必要性を、家庭や離乳食講座等で発信していくことができる担い手として、人材育成をする。	一般市民	参加者満足度	●開催回数:5回 ●開催場所:中央保健福祉・幼児教育センターセンター ●対象:食育に関心のある一般市民 ●内容:①乳幼児期の食の大切さについて②離乳食の基礎と実習③食と心の育ちの関係について④歯と口腔の健康について⑤食物アレルギーについて		100.0%	97.5%	必要に応じて実施予定	97.5%

実施事業一覧表 子ども保健課

番号	細々目	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	事業の周知方法及びそれに関する問題点	目標値	実績値	目標値	目標達成度
								H28年度		H28年度	H28年度	H29年度	H28年度
11	母子管理対策事業	4カ月児健診	子ども保健課	授乳時の母親の食事・母乳栄養・混合栄養・離乳食準備期から完了期についての指導	親子の心の安定の中で食を楽しみ心地よい生活を実現する。	・対象児 ・保護者	健康診査受診率	授乳期の母親の食事・母乳栄養・混合栄養・離乳食準備期から完了期についての指導	放課後子ども教室の実施者等に対して、事業説明会を毎年実施しており、周知等についての問題点は見うけられない。 なお、通学合宿実施の有無は、各放課後子ども教室の判断による。	100.0%	98.6%	100.0%	98.6%
12	歯科保健推進事業	10カ月児歯科育児相談	子ども保健課	離乳食後期から完了期の食事指導、生えてきている歯の本数に合わせた噛み方、飲み方の指導、口腔内のチェック、歯みがき指導	体験をととして、自分で進んで食べよとする力を育む。	・対象児 ・保護者	1歳6カ月児健診でむし歯のない児の割合	離乳食後期から完了期の食事指導・生歯本数・口腔内のチェック・歯磨き指導	対象者へ個人通知	H28～名称・実施形態変更 相談→教室へ			
13	1歳6カ月児健康診査	1歳6カ月児健康診査（歯科健診含む）	子ども保健課	幼児食から普通食・間食についてや、噛む習慣の定着についてなどの指導	子どもが食を楽しみ、食に関心を持ち、生活リズムの確立を図る。	・対象児 ・保護者	健康診査受診率	離乳食の完了期。幼児食・間食などの相談	対象者へ個人通知	100.0%	95.4%	100.0%	95.4%
14	1歳6カ月児健康診査（再掲）	2歳児経過歯科健診	子ども保健課	2歳になるフォロー児に対する歯科保健指導	保護者に対し、歯の大切さ、生活習慣の見直しなどを意識づけ、健全な口腔機能の維持を図る。	・対象児 ・保護者	経過歯科健診受診率（所内及び歯科医院含む）	離乳食の完了期。幼児食・間食などの相談	事業番号13に含む				
15	3歳児健康診査	3歳児健康診査（歯科健診含む）	子ども保健課	食に関する相談、歯科健診の実施、正しい咀嚼についての指導	バランスの取れた食事や生活リズム、食事マナーなどについての認識、健全な口腔機能の維持を図る。	・対象児 ・保護者	健康診査受診率	食に関する相談、歯科検診の実施。	対象者へ個人通知	100.0%	91.8%	100.0%	91.8%
31	育児等健康支援事業（再掲）	【重点課題ほ】母子健康手帳交付	子ども保健課	母子健康手帳の交付時に保健・栄養・歯科について小グループ指導を実施。	母性尊重の理念を高め、健康保持増進の意欲を図る。心身・出産に関する栄養の知識を普及する。	・妊産婦	相談者数	母子健康手帳交付時に栄養・保健・歯科についての指導を実施	第1子の妊婦、及び栄養指導が必要な妊婦、栄養指導を希望される妊婦に対して個別実施	2,241人	2,124人	2,241人	94.8%
32	育児等健康支援事業（再掲）	【重点課題ほ】マタニティ学級	子ども保健課	栄養バランスなどの食事診断を実施	健康の増進、生活の質の向上、バランスのとれた食生活による豊かな生活、家族で食卓を囲む楽しい食事の実践につながる。	・妊婦	育児相談者数・教室参加者数	講話だけでなく、簡単にできる野菜の1品料理や天然だしの味噌汁の試飲等行い、実演も含めた内容にし、即行動変容ができるような教室内容に努めた。	第1子の妊婦（希望者）に対して案内葉書郵送	1,300人	741人	1,300人	57.0%

実施事業一覧表 廃棄物減量推進課

番号	細々目	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	事業の周知方法及びそれに関する問題点	目標値	実績値	目標値	目標達成度
								H28年度		H28年度	H28年度	H29年度	H28年度
7 ▼	地域リサイクル活動支援事業	【重点課題せ】食のリサイクル	廃棄物減量推進課	生ごみを活用した元気野菜づくりの体験活動を実施するために「ごみ減量アドバイザー」を登録し、地域や学校などの講習会に指導者として派遣	自然の恵みに感謝し、自然の仕組みを知ることにより、食への関心を高めるとともに、「限りある資源を大切にすること」を育む。 ※また、食品ロスについても啓発を行い、理解を深める	・幼稚園、保育所の園児 ・児童生徒 ・市民	派遣回数	ごみ減量の取り組みとして、生ごみを活用した野菜づくりの体験活動を実施するため「ごみ減量アドバイザー」を地域や学校などの講演会に計6回の派遣を行った。	ホームページ掲載のみ。減量アドバイザーによる周知が大半であり、市民への周知・広報は充分とは言えない。なお、事業としてはいわゆる「土地」「土」が必要であり、アパートやマンション居住の世帯には実施が難しい一面がある。	15回	6回	10回	40.0%

実施事業一覧表 学校保健課

番号	細々目	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	事業の周知方法及びそれに関する問題点	目標値	実績値	目標値	目標達成度
								H28年度		H28年度	H28年度	H29年度	H28年度
16 ▼	健康管理対策事業	学校における歯科健診	学校保健課	学校歯科医による児童生徒の歯科健診を実施するもの	児童生徒の健康管理・増進を図る。	・児童生徒	12歳児の1人平均う歯数(DMFT指数)	学校歯科医により、各学年1回～2回実施		0.75	1.00	0.90	66.7%
43	学校における食育推進事業	児童生徒の食育指導	学校保健課	特別活動や給食時間、総合的な学習などを利用した児童生徒の体験学習を実施	体験をととして、児童生徒が健康的な食生活のあり方や望ましい食習慣を身につける。	・児童生徒	小・中学校における体験活動をとおした食育実施率	食育指導全体計画の作成		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
45	学校保健管理事業	子ども期歯科保健研修会	学校保健課	学校での歯科健康診断、歯科保健教育、むし歯や歯周疾患の積極的な予防のための研修会を開催	市歯科医師会の協力のもと、本研修会を開催している。よい歯の学校(園)の表彰や、講演会の開催により、歯科保健の充実に寄与している。	・教職員 ・保護者 ・歯科医	研修会参加人数	実践発表「学校・家庭・学校歯科医が連携した歯科保健活動の取組」 佐世保市立相浦小学校高島分校 教頭 松尾 恵津子 義理教諭 池田 彰織 講演「小児期の歯・口の発育と口腔機能の発達」 ～子どもの食育における「食べ方」支援の大切さ～ 昭和大学歯学部小児成育歯科学講座 客員教授 井上 美津子		380人	356人	380人	93.7%
50	学校給食実施に関する事業	学校給食を通じた家庭・地域への啓発	学校保健課	新メニュー調理実習・衛生管理研修会・学校給食の試食会・ふれあい給食会・「食育」の講話等の実施	児童生徒が安全でおいしく給食を食べ、食に関する正しい理解を深める。	・児童、生徒 ・保護者 ・学校給食従事職員	学校給食試食会実施率	学校給食試食会を保護者・地域の方・地域の園児等とともに実施した。		98.0%	96.0%	98.0%	98.0%
51	中学校給食の実施	中学校給食の実施	学校保健課	中学校給食の完全実施	中学生の食育の充実	中学生・教職員・保護者	完全給食実施率(学校数)	平成25年9月より中学校給食の完全実施		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

実施事業一覧表 社会教育課

番号	細々目	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	事業の周知方法及びそれに関する問題点	目標値	実績値	目標値	目標達成度
								H28年度		H28年度	H28年度	H29年度	H28年度
10	家庭教育推進事業	子育て講座・研修会	社会教育課	小学校の入学説明会時に子育て講座を開催、PTAを対象とした各種研修会を実施	家庭が果たすべき役割や家庭教育の重要性を再確認し、家庭における教育力を充実させる。	・小学生の子どもを持つ家庭・保護者	「させほ子育て講座」受講率	小学校入学説明会時に、保護者を対象として「させほ子育て講座」を開催した。	小学校入学説明会やPTA研修会において、家庭教育の重要性にかかる講座の実施や意識喚起を行っており、問題は見つけられない。	100.0%	96.7%	100.0%	96.7%
39▼	生涯学習講師派遣事業	まちづくり出前講座	社会教育課	市職員が講師となって市民向け研修・講習・説明を行う「出前講座」を開催し、食育に関する情報を提供	市民が食育に関して理解を深めるとともに、幅広い知識を持ち、実践するようになる。	・市民グループ	受講団体数	市役所(及び関係機関)の業務をメニューとして取り揃え、市職員が講師として市内の学習グループ等に対して説明を行った。	市内公共施設へのパンフレット設置や市のホームページ掲載により広く周知を図っており、問題は見つけられない。	15団体	5団体	15団体	33.3%
追	放課後子どもプラン推進事業	放課後子ども教室	社会教育課	地域の大人の協力を得ながら、献立作成、買い物、調理をはじめ、さまざまな生活体験を積む「通学合宿」の支援	食に対する子どもたちの関心を高め、規則正しい生活によって、基本的な生活習慣の定着を図る。	・主に小学4～6年生	通学合宿実施回数	市内5か所、最長6泊7日、最短2泊3日で実施。子ども達の集団生活を地域住民が支援し、協働する活動。	放課後子ども教室の実施者等に対して、事業説明会を毎年実施しており、周知等についての問題は見つけられない。 なお、通学合宿実施の有無は、各放課後子ども教室の判断による。	6回	5回	6回	83.3%

実施事業一覧表 公民館政策課

番号	細々目	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	事業の周知方法及びそれに関する問題点	目標値	実績値	目標値	目標達成度
								H28年度		H28年度	H28年度	H29年度	H28年度
38	公民館主催講座事業	食に関する講座による情報提供	公民館政策課	各地区公民館が主催する市民向け講座に、食育のメニューを盛り込んで実施	市民が食育に関して理解を深めるとともに、幅広い知識を持ち、実践するようになる。 ※また、食品ロスについても啓発を行い、理解を深める	・市民	参加者数	23公民館で開催。実施回数102回、参加者数1,985名。料理教室をはじめ、食生活に関する情報提供により参加者の健康づくりや生きがいづくりになっている。		2,300人	1,985人	2,300人	86.3%

実施事業一覧表 健康づくり課

番号	細々目	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	事業の周知方法及びそれに関する問題点	目標値	実績値	目標値	目標達成度
								H28年度		H28年度	H28年度	H29年度	H28年度
17	けんこうシッ プさせほ21 計画事業 (再掲)	【重点課題ほ】 高校生への食 育推進事業	健康 づく り課	家庭から自立する時期にあ る高校生を対象に食に関す る啓発を行う	家庭から自立する時期にある 高校生に対し、健康的な食生 活を実践するための支援を行 う。	・高校生	・実施回数	商業高校・鹿町工業高校・佐世保中央 高校・佐世保工業高校の文化祭に食に 関するブースを出展した。 395人がブースを訪れた。	文化祭でのブース出展の形式にしたこ とから、高校生およびその保護者に広く 周知できるようになった。ただ、場所 によって思うように集客できなかった ため、事前打ち合わせで高校側 に協力してもらう必要がある	4回	4回	4回	100.0%
18	食育推進事 業	【重点課題ほ】 大学生への食 育推進事業	健康 づく り課	大学生を対象に望ましい食 生活の普及を行う。	大学生に対し、調理技術や望ましい食 生活に関する知識を普及することで、将 来の生活習慣病を予防する	市内の大学・短 期大学に通学 する学生		「大学生の食生活に関するアンケート」調査を実施 し、ニーズを把握した(432名) その後、アンケート結果をもとに、「大学生のための 簡単クッキング講座」を2回実施したが、参加者が 少なかった(計5名) 課題が残る結果となったため、長崎国際大学健康 栄養学科に助言を求め、今後の方針を決める予 定。	各大学の学生課を通じて学内へのポスター掲示や チラシの設置を行ったが集客ができなかった。 周知方法はもちろんだが、場所、実施方法にも問 題があったと思われる	試行期間	平成30年度から事業実施		
21	いきいき元 気食事づくり 教室	【重点課題せ】 いきいき元気 食事づくり教室	健康 づく り課	いつまでも元気でいきいきと 過ごすために、食を通して健 康を維持し、介護予防につ いての理解を深めるための 講和や実習を行う。	いつまでも元気で、活動的に暮 らすために高齢者とその家族を 支援する。 ※また、食品ロスについても啓 発を行い、理解を深める	・高齢者 ・家族	料理教室の 参加者数	48回開催し、参加者数は延べ 666人 3テーマに分け、献立を変更。 男性初心者対象を4回開催。	周知方法:チラシ・ポスター・HP・開催場 所によっては班回覧、公民館の協力も 依頼している 新規参加者の増加が課題。また、地域 によっては参加者数が少ないところ があることも課題。	960人	666人	960人	69.4%
22	介護食づくり 教室	【重点課題せ】 介護食づくり 教室	健康 づく り課	要介護者の状態を維持しな がら、食べる楽しみを得るた めの介護食を習得する料理 教室の開催	介護を必要とする人の食べる 機能の段階に応じた介護食づ くりを行い、介護に携わる人の 調理技術と食に関する知識を 向上させる。 ※また、食品ロスについても啓 発を行い、理解を深める	介護に携わる方 で介護食づく りに不慣れな方	料理教室の 参加者数	歯科衛生士・栄養士の講和による介護 に必要な情報の提供。歯科衛生士によ る口腔ケアの実践を取り入れ実施。 普通食からひと工夫した介護食の調理 実習。	周知方法:チラシ・ポスター・HP・開催場 所によっては班回覧、公民館の協力も 依頼している 新規参加者の増加が課題。また、地域 によっては参加者数が少ないところ があることも課題。	200人	205人	200人	102.5%
23	健康手帳交 付事業	健康手帳交付	健康 づく り課	食生活や運動を含め、生活 習慣病予防の情報を提供す るため健康手帳を配布	自身の健康管理と適切な医療 確保に役立てる。	・40歳以上	・40歳到達 者 ・希望者へ の配布数	食生活や運動を含め、生活習慣病予 防の情報を提供するため健康手帳を配布		1,100冊	763冊	1,100冊	69.4%
24	健康相談事 業	健康相談	健康 づく り課	生活習慣病に関する来所・ 電話相談、食生活を含めた 運動や生活全般に対する指 導助言	個別相談を行うことで、対象者 の生活状況にあわせた具体的 な指導を行い、生活習慣病を 予防する。	・40歳以上	相談者数	生活習慣病に関する来所・電話相談、 食生活を含めた運動や生活全般に対す る指導助言		5,000人	4,112人	5,000人	82.2%
25	健康教育事 業 (再掲)	健康教育	健康 づく り課	食生活、運動、生活全般の 指導助言、骨粗しょう症検 診や歯科健診の指導	食の知識を深めることにより、 健康への自覚を高め自分の健 康管理を主体的に実践する。	・40歳以上	健康教育の 参加者数	食生活、運動、生活全般の指導助言、 骨粗しょう症検診や歯科健診の指導		184回	215回	186回	116.8%
26	健康診査事 業 (再掲)	成人歯科健診	健康 づく り課	歯科医院での歯科健診、中 央保健福祉センターでの歯 科健診を実施。 食の基礎となる歯や口腔の 健康維持、機能維持を促進 する。	毎日の食生活の充実、「食べる 楽しみ」を確保する。	・18歳以上(高 校生を除く)	委託歯科 健診、所内 歯科健診 及び離島で の歯科健診 の受診者数	18歳(高校生を除く)以上を対象とし、 母子健康手帳交付時をはじめ対象年 齢の市民の方へ受診勧奨をおこな った。なお、満40・50・60歳の節目の方 には無料クーポン券を送付し受診強化 を図った。		1,370人	1,247人	1,370人	91.0%

実施事業一覧表 健康づくり課

番号	細々目	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	事業の周知方法及びそれに関する問題点	目標値	実績値	目標値	目標達成度
								H28年度		H28年度	H28年度	H29年度	H28年度
30	歯科保健推進事業 (再掲)	歯の健康優良高齢者コンテスト	健康づくり課	80歳以上の高齢者で健康な口腔を有する者を表彰	楽しい食生活をおくるため、80歳以上になっても20本以上、自分の歯を保持する。	・満80歳以上	参加者数	80歳以上で自分の歯が20本以上持っている方を募集し、歯科医師会の協力を得て口腔内審査を実施し、優良者を決定し、表彰をおこなう。		33人	27人	35人	81.8%
33	健康診査事業 (再掲)	妊産婦歯科健診	健康づくり課	歯科医院での歯科健診、生活習慣病健診時の歯科健診を実施するとともに、妊婦期に必要な歯科保健指導や健康管理を実施	毎日の食生活の充実、「食べる楽しみ」を確保する。また、歯科保健指導によって、妊娠期に必要な口腔管理を行う。	・妊産婦	妊婦歯科健診受診率	妊産婦については20歳未満でも対象とし、母子健康手帳交付時をはじめ市民の方へ利用を勧めている。		300人	224人	300人	74.7%
34	食育推進事業 (再掲)	【重点課題さ・ほ】 食育意識啓発、普及	健康づくり課	ライフステージに応じ、市民の望ましい食生活に向けた食育に関する出前講座や、食に関するイベントを行う団体と連携し、イベントで食育に関するブースを設け普及・啓発を行う。また家族そろっての食事(共食)は食育の原点であることから、月に1度は家族そろって食事する機会を持つよう啓発を行う。	食育に関心を持ち、実践する市民の増加を図る。	・市民	イベント及び講座参加者数	ライフステージに応じて市民の望ましい食生活の実践に向けた食育に関する展示・掲示媒体の充実。食に関するイベントを行う団体と連携し、イベントで食に関するブースを設け、普及・啓発を行った。	他団体のイベントに出展することで、食育単独でイベントを行うよりもさまざまな方を集客することができるようになった。	2,000人	2,973人	2,000人	148.7%
35	食育推進事業 (再掲)	ヘルシークッキングコンテスト「家族そろっての食事推進」	健康づくり課	望ましい食習慣を身につけるために、簡単に作ることができるメニューを募集し、募集した作品のレシピの配布等を行い、周知・啓発をはかる。	啓発をとおして、各家庭での基本的な食習慣(家族そろっての食事や朝ごはんを食べる)を見直す機会を図る。	・市民	応募作品数	食品ロスが問題となっていることから、「料理や市販の既製品・惣菜にひと工夫した変身レシピ」を募集した。応募数1382点	周知方法:チラシ・ポスター・広報させほ・HP・FB 中高生については、学校側の協力があり参加数が増えている。しかし、一般の方の参加が少ないことが課題である。	1,500点	1,382点	1,500点	92.1%
36	歯科保健推進事業 (再掲)	デンタルフェスティバル	健康づくり課	毎年6月の「歯の衛生週間」に開催、「食生活コーナー」を設置して、おやつなどの砂糖含有量について指導を実施	啓発をとおして食の楽しみ、歯と口の健康維持、むし歯予防を図る。	・市民	参加者数	毎年6月第1日曜日に開催されており、今年度は中央公民館でデンタルフェスティバルを開催。		2,000人	3,161人	2,000人	158.1%
37	けんこうシブさせほ21計画事業 (再掲)	【重点課題さ・ほ】 健康づくり応援の店推進事業	健康づくり課	健康に配慮した登録店舗を増やすことで、望ましい食環境の整備に努める	食や禁煙など健康に配慮した取組を行う店舗をとおして、食環境整備を進めるとともに、市民の食生活に対する関心を高め、適切な食選択の実践につなげる	・食品衛生法許可営業施設	登録店舗数	健康に配慮した登録店舗を増やすことで、望ましい食環境の整備を行う。登録店舗を増やすために、「食品衛生責任者講習会」でPRを行った。併せてホームページのリニューアルも行った。また、今年度は広報させほの3月号に健康づくり応援の店に関する記事を掲載できたため、市民への周知もできた。	登録推進のための周知方法:食品衛生責任者講習会でのPR/HP/お店に直接交渉 市民への周知:HP/食ナビの配布 登録店舗についての情報を市民に十分に提供できていないことが課題。登録店舗へのメリットが少ないことから登録数も伸び悩んでいる。	84店舗	83店舗	86店舗	98.8%
40	食育推進事業 (再掲)	【重点課題さ・ほ】 市民への望ましい食習慣に関する情報提供の充実	健康づくり課	市民が見つつけやすい場所で望ましい食習慣に関する情報を掲示等で見せることにより望ましい食習慣への行動変容へとつなげる	市民が望ましい食習慣を実施できるよう、行動変容が期待できる場所での周知を図る	市民	情報提供実施率	給食施設等の給食担当者に食育スタンドを配布し、施設利用者への啓発を行った。しかし、今後は、生活習慣病を予防するためには、給食施設等だけでなく、市民への健康的な食事に関する情報提供の更なる充実が必要であるため、事業内容・指標等の検討を行う。		100.0%	97.2%	今後検討	97.2%
41	給食施設等指導事業 (再掲)	調理師研修会	健康づくり課	特定給食施設などの調理師及び調理員に対して、給食管理、衛生管理に関する知識や技術向上のための情報提供	調理師及び調理員の資質の向上を図る。	・特定給食施設などの調理師及び調理員	参加施設割合	平成28年①6月16日、②17日、③23日の3回開催し、参加者は延べ196人(182施設) ①～③共通:食中毒予防について ①「専食者がおいしく食べるための工夫と心がけ」 ②「保育所・認定こども園における「食事の提供にかかる業務」実施要領改訂のポイントについて」 ③①の公演をビデオ撮影し、放映	-	80.0%	72.8%	80.0%	91.0%

実施事業一覧表 健康づくり課

番号	細々目	事業項目	担当課名	事業内容	事業目的	対象者	指標式名	実施内容	事業の周知方法及びそれに関する問題点	目標値	実績値	目標値	目標達成度
								H28年度		H28年度	H28年度	H29年度	H28年度
48	保育所給食施設指導	保育所給食施設指導	健康づくり課	特定給食施設などの設置者に対し、栄養管理のための指導、助言、支援	各施設での効果的な業務の実施と施設間の格差を無くす。	・調理や献立作成に従事する者 ・給食責任者	指導施設率	毎年5月・10月に保育所給食施設より検討表の提出。検討表から栄養量の過不足等のある施設に対し、支援・助言を行った。 県が策定している「食事の提供に係る業務実施要領」の改定を受け、今年度から認定こども園にも指導を行った。	-	90.0%	100.0%	90.0%	111.1%
53	食生活改善事業 (再掲)	【重点課題せ】食生活改善推進員研修会	健康づくり課	食生活改善推進員の研修	知識の習得・会員間の交流により、会員の資質向上と市民への対応力の向上を図る。 ※また、食品ロスについても啓発を行い、理解を深める	・食生活改善推進員	会員数	年間10回、各地区でボランティア活動を行う会員の資質向上のための研修会を開催。 今年度は、「男性フォローアップ研修」3年目フォローアップ研修」を新たにを行い、地区を超えた会員の交流を図った。	-	290人	279人	295人	96.2%
54	食生活改善事業	【重点課題せ】食生活改善推進員養成講座	健康づくり課	食生活改善推進員になるための養成講座の開催	健康づくりの協力者を育成し、地域住民への食育推進を図る。 ※また、食品ロスについても啓発を行い、理解を深める	・食生活改善推進員を目指す市民	参加人員	8月から11月に、食に関するボランティア活動を行う市民を食生活改善推進員として養成する講座を開催。 今年度から、ポイント制を導入し、参加しやすい環境を作った。	周知方法：チラシ・ポスター・広報させほ・HP・現会員の口コミ 毎年定員に達する程度の申し込みあり。合併地区などの参加者が少ないことが課題。	30人	24人	30人	80.0%
55	食育推進事業 (再掲)	食育実践者ネットワーク会議	健康づくり課	市内の老人福祉施設、保育施設など、保健・医療・福祉分野の業務に携わっている管理栄養士・栄養士が一堂に会し、栄養指導の方法や食事の提供状況について情報交換を行う。	地域で食生活支援を必要とする市民へ、統一性のある継続した栄養相談の実施についての充実を図る	・市内の管理栄養士、栄養士など	参加者数	平成28年8月26日…83名参加 議題「食物アレルギー患者への支援」 情報提供及び情報共有 平成29年2月22日…87名参加 議題「食物アレルギー患者への支援」 講演	-	200人	170人	200人	85.0%
56	食育推進事業 (再掲)	食育実践者研修会	健康づくり課	食育推進の役割を担う人材(食育実践者)に対し、資質向上のために研修会を実施する。また、活躍の機会を増加させるなど支援体制を整える。	健康づくりの協力者を育成し、地域住民への食育推進を図る。	・市内の食育実践者	参加者数	平成28年11月2日…93名参加 「今後の食育推進に向けて」 食生活改善推進員研修会・養成講座・運動普及推進員養成講座も兼ねて実施	周知方法：食育ボランティアへのチラシの郵送 市内の食育ボランティアをすべて把握できておらず、送付先が限られていることが課題。	120人	93人	120人	77.5%